

# JKB-MA型

# 組立説明書

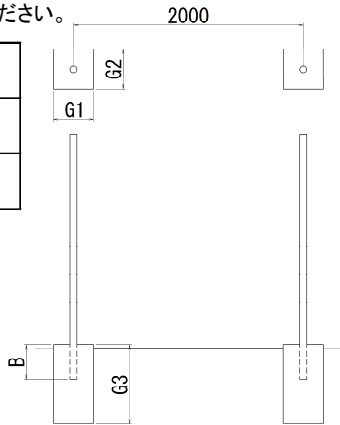
## 1. 柱の位置決めと基礎の設置

- 柱間隔は柱芯々2000mmに割り付けてください。  
隅柱は軸心より45度(135度)振り向けて設置してください。  
(隅部参照)

## 2. 柱の埋め込みと基礎サイズ

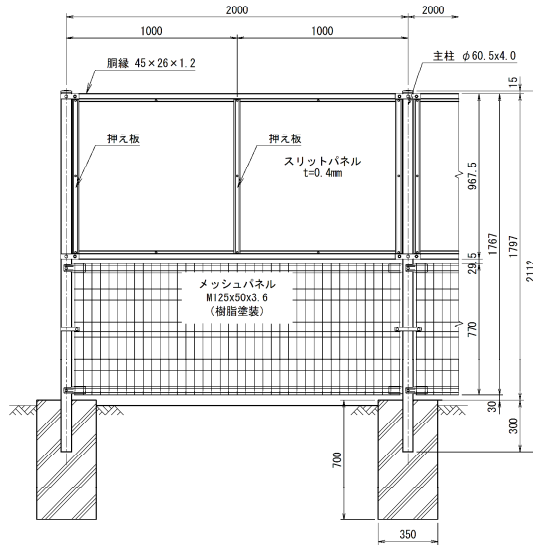
- 柱間隔は柱芯々2000mmに割り付けてください。

型式	寸法	基礎寸法 G1 x G2 x G3(mm)	埋込寸法 B(mm)
H1800		350 x 350 x 700	300
H2000		400 x 400 x 700	300

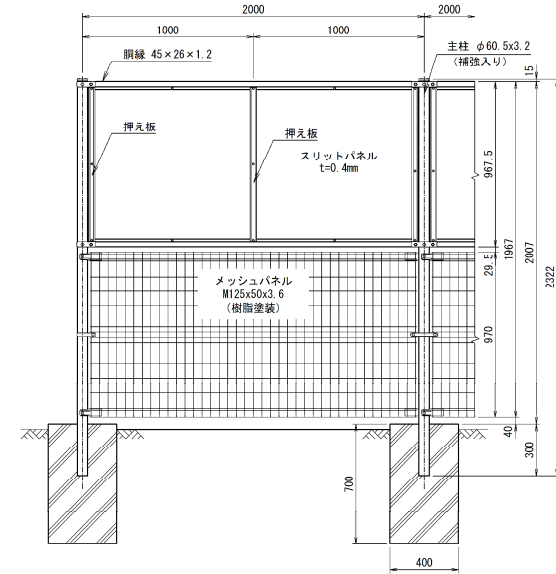


## 姿図

H1800



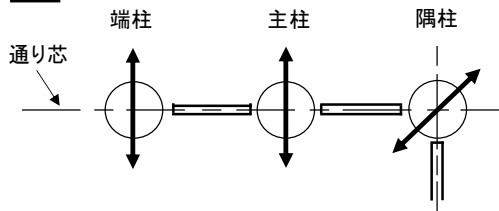
H2000



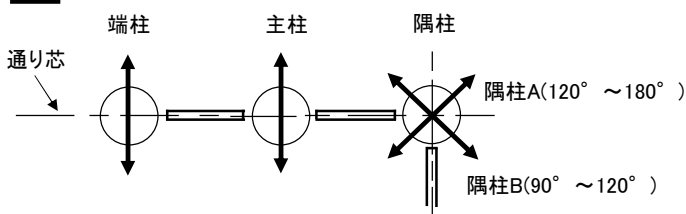
## 3. 柱に取付ける継手のボルト孔方向

- 柱のボルト孔方向

JKB

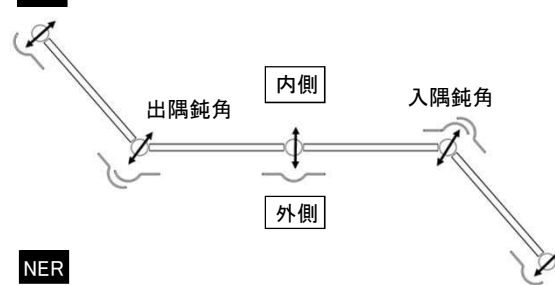


NER

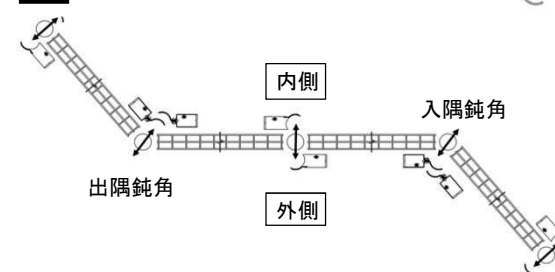


- 鈍角の場合の柱のボルト孔方向

JKB



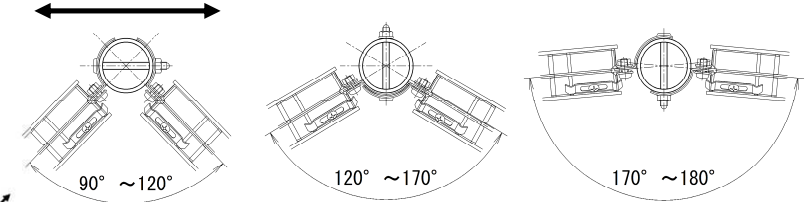
NER



- 角度により下図の様に取付けます。

・隅柱バンド取付詳細

ボルトの向き



<ご注意>

90度から120度までは柱の孔の向きが  
主柱とは異なりますのでご注意ください。

# JKB-MA型

# 組立説明書

## 4. メッシュパネル継手・パネルの取付け方

①柱継手を端柱に取付けます。(上下)  
 柱継手A,B  
 M8 x 80  
 端柱

②メッシュパネルの主柱側にパネル継手を挿込みます。(上下)

③メッシュパネルを取付けます。  
 ●端柱の継手にパネルを挿込みます。  
 ●主柱側の柱継手を取付けます。  
 ●メッシュ挿入後、固定金具と固定ビスでメッシュを固定してください。  
 ●メッシュと柱の隙間は均等にしてください。

柱継手 AまたはB  
 固定ビス  
 固定金具  
 柱継手A  
 柱継手B  
 主柱  
 継手B.N(角根) M8 x 80

④柱バンドを取付けます。  
 端柱バンド  
 端柱 M8 x 24  
 柱バンド  
 主柱 M8 x 24  
 バンドB.N(角根)

### 隅部

●自在継手をフェンスの曲がる方向に取付けます。(上下)

自在継手  
 端柱バンド  
 隅柱  
 継手B.N(角根) M8 x 80  
 バンドB.N(角根) M8 x 24

## 5. スリットパネル継手の取付け方

(継手にはパネルと固定する為のボルトがあらかじめ組まれています)

●継手は外側に取付けてください。※入隅の場合は先に継手からボルトナットを外して、内側から取付けてください。

主柱	端柱	隅柱	
<p>主柱上段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 75</p> <p>主柱継手</p>	<p>端柱上段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 75</p> <p>端隅継手(内)</p>	<p>出隅</p> <p>隅柱上段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 80(十字孔付トラス頭ボルト)</p> <p>隅継手(外)</p> <p>端隅継手(内)</p>	<p>※ 先に継手からボルトナットを外します</p> <p>入隅</p> <p>隅柱上段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 80(十字孔付トラス頭ボルト)</p> <p>隅継手(外)</p> <p>端隅継手(内)</p>
<p>主柱下段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 75</p> <p>主柱継手</p>	<p>端柱下段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 75</p> <p>端隅継手(内)</p>	<p>隅柱下段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 80(十字孔付トラス頭ボルト)</p> <p>隅継手(外)</p> <p>端隅継手(内)</p>	<p>隅柱下段継手</p> <p>ナット ワッシャー M8 x 80(十字孔付トラス頭ボルト)</p> <p>隅継手(外)</p> <p>端隅継手(内)</p>

### 傾斜部

●傾斜・自在継手を取付けます。(上下)

傾斜が5度以下の場合  
(傾斜柱B)

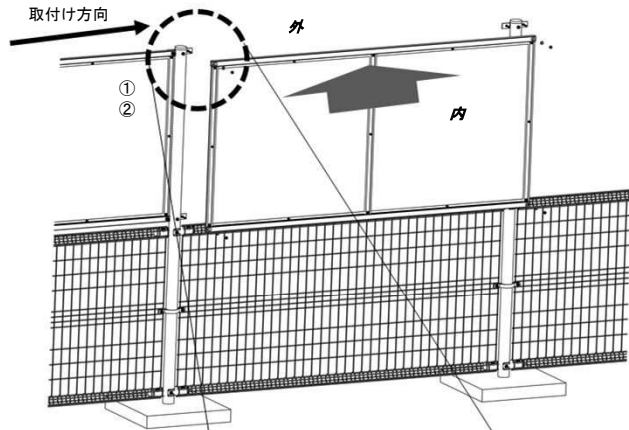
自在継手ボルト M8 x 16  
 自在継手  
 傾斜柱

傾斜が5度から10度までの場合  
(傾斜柱A)

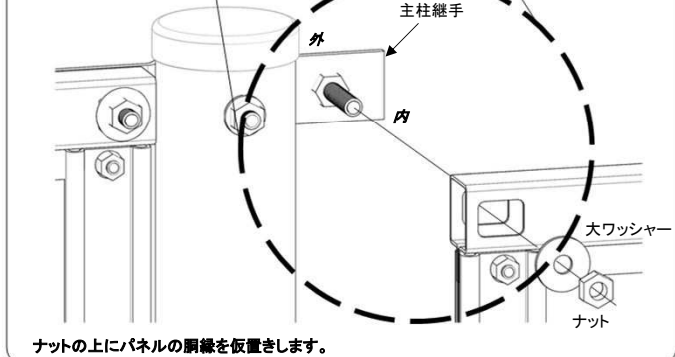
タッピングビス  
 自在継手ボルト M8 x 16  
 傾斜柱  
 傾斜継手

6. スリットパネルの取付け(仮置き、片面施工)

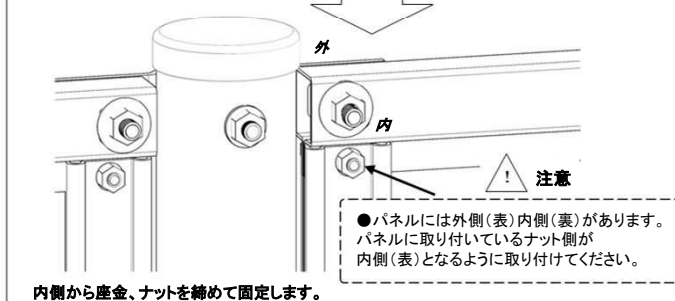
●主柱、端柱、出隅柱へのパネルの取付け方



①パネルの仮置き

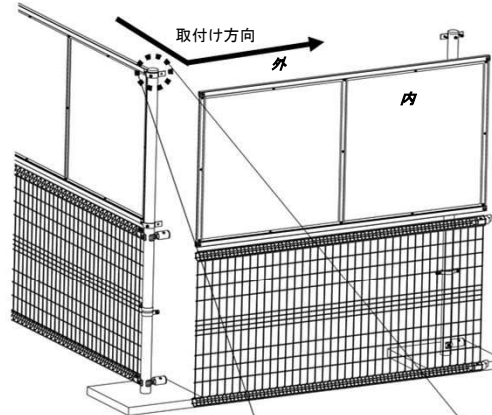


②パネルの取付(片面施工)

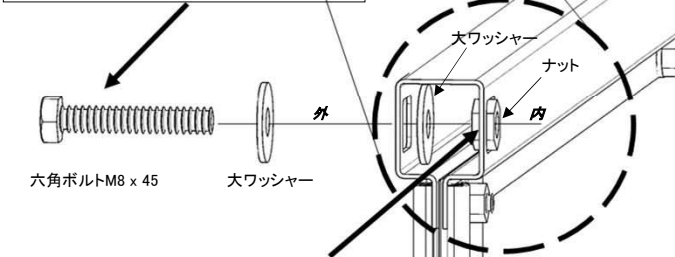


●入隅柱へのパネルの取付け方

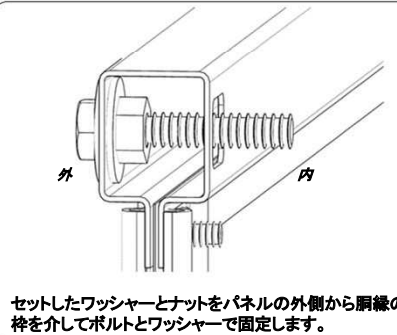
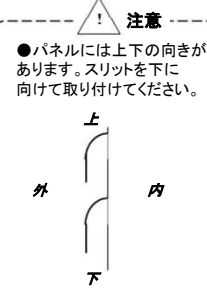
①パネルに仕込みボルトを固定



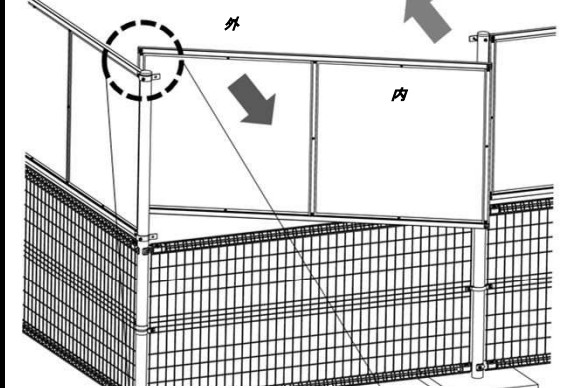
※端隅継手(内)から外したボルトを使用します。



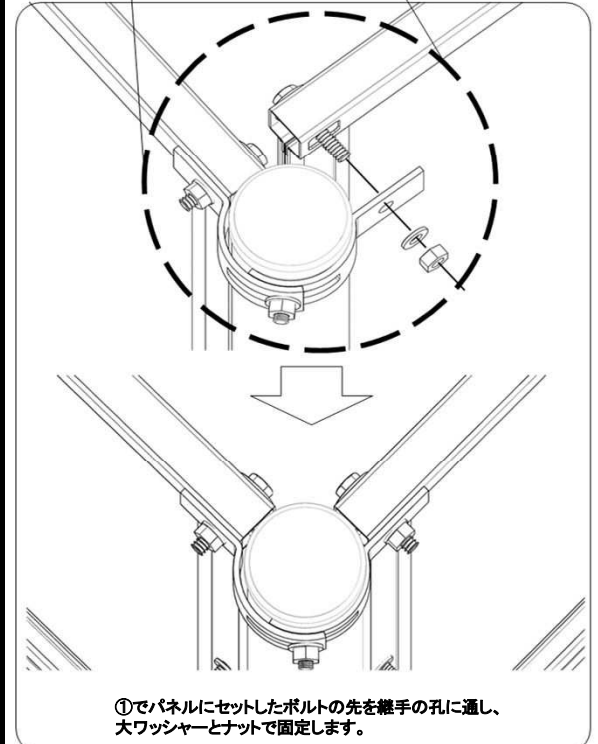
※入隅の場合は、胴縁内側に取付ける為のワッシャーが付属してきます。  
胴縁内に入隅用に付属したワッシャーとナットをセットします。



②入隅柱の継手へのパネルの取付方



矢印の方へパネルを回転させて継手に仮置きして取付けます。

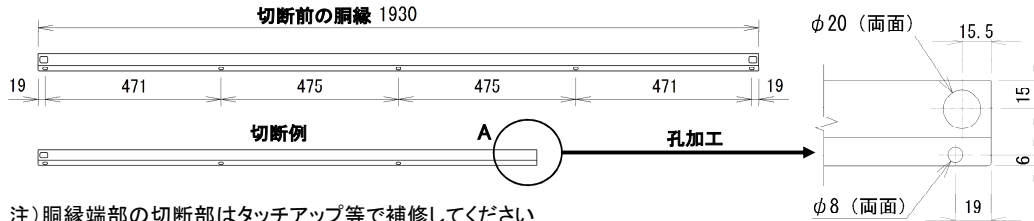


## JKB-MA型

## パネルの幅詰め時の胴縁孔加工方法

## スリットパネル

●パネルの幅詰め時の胴縁の孔加工は下図をご参照ください。



注) 胴縁端部の切断部はタッチアップ等で補修してください

## メッシュパネル

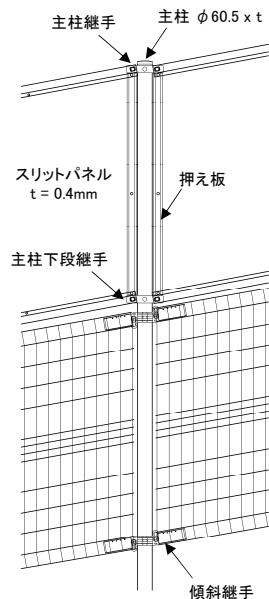
- 短スパンは柱間隔に合わせてメッシュパネルを切断してください。
- 切断部はバリを取り、補修塗料(タッチアップ)で補修してください。

## ! 注意

短スパンでメッシュパネルを切断した場合は、取り扱いに注意してください。  
手にけがをすることがあります。

## 傾斜

- 傾斜パネルは角度毎のオーダー品となります。



	t
H1800	4.0
H2000	3.2(補強あり)

## 傾斜対応

- ①傾斜対応は10度までとします。
- ②施工面から、鋼管基礎を推奨します。

(注) 傾斜5度以下 → 傾斜主柱B(自在継手 + 柱バンド)  
傾斜5度～10度 → 傾斜主柱A(傾斜継手 + 端隅柱バンド)  
傾斜5度以下 → 傾斜端柱B(自在継手 + 端隅柱バンド)  
傾斜5度～10度 → 傾斜端柱A(傾斜継手 + 端隅柱バンド)

## ! 注意

## ●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)
- ⑥柱継手の固定金具の内外の取付位置を揃える為、左右に端柱がある場合は継手Aと継手Bを左右で交換して1本の柱には継手Aまたは継手Bのいずれかにしてください。

## ●取扱い注意点

- ①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。